

いちごの苗床の整理体験を実施

【行事の概要】

7月10日(土)あいにくの雨天の下でしたが、豊平川ファーム(園主土田仁さん)で発見隊員12名の参加があり、約1時間半にわたって苗床の整理体験を行いました。



隊員によるいちご摘みと整理作業

いちご狩りの人でにぎわった畑も、収穫が終了して、あとは小さないちごを残すだけになりましたが、これからは翌年の収穫に向けたいちご畑の整理をする必要があり、隊員の作業体験と同時に果樹園に対する支援も目的としています。

もうひとつの目的は、苗床の整理作業によって収穫したいちごは「さくらんぼ祭り」に販売するイチゴジュースの原材料として利用します。これは祭り運営費の貴重な財源の一部になります



今回開催された会場

【いちご苗床の整理体験の内容等】

果樹園の今年最初の収穫となる露地物のいちごは、6月下旬から出荷や販売が始まり、同時に市民や観光客にはいちご狩りとして開放してきました。

春の低温と6月の急激な高温多湿の気象によって、いちごも少なからず影響を受けましたが、家族連れや町内会、職場の団体などたくさんのお客様に楽しんでいただくことができました。



開花期



熟しはじめ



整理前のいちご

収穫期も約10日間で終盤となって、畑には葉の影に隠れて取り残されたものや小さな実がたくさんあり、今回はそれらを収穫するとともに苗床の整理を行いました。参加者は、2時間弱の作業で約20キログラムのいちごを摘むことができました。

隊員は、カッパを着て雨中での不慣れな作業のため、汗にまみれていました。



いちご摘み作業

収穫したいちごは、砥山ふれあい果樹園に持ち帰り、イチゴジュースの原料として使うための準備作業を行いました。



収穫した水洗い前のいちご



水洗い

まず、すべてのいちごを丁寧に水洗いし、次いでいちごの蒂(ヘタ:果実に残っているガク)を取りながら加工に適さない実を選別していきます。



ヘタ取りと選別



袋詰め



流れ作業でイチゴジュースの原料となる選別されたいちごは、袋詰めして1週間後の「さくらんぼ祭り」に備えて冷凍保存することになります。凍ったままのいちごは祭りでミキサーにかけられジュースとなっており、冷たい飲み物を求めるお客様に人気の飲み物となっています。

発見隊隊員はこのような地道な活動をとおり、その目的である八剣山周辺地区のまちづくり支援、自然環境の魅力の掘り起こしや保全に努めています。

発見隊今後の行事予定

- 7月18日 さくらんぼ祭り(隊主催)
- 7月3日~7月末日 さくらんぼ整理作業(隊員限定)
- 8月22日 農業小学校(隊の応援企画)
- 9月12日 農業小学校(隊の応援企画)
- 9月 八剣山牧場祭・収穫祭(隊の応援企画)
- 9月 簾舞通行屋祭(隊の応援企画)
- 10月上旬 カップバスガイド(隊の応援企画)
- 10月17日 農業小学校(隊の応援企画)

発行:八剣山発見隊(事務局長 瀬戸修一)

〒061-2275 札幌市南区砥山84番地

☎・FAX 011-596-2694

E-mail toyamafureai@gol.com

URL <http://hakkenzan.com/>